



さかきっ子

学校教育目標

「かしこく・やさしく・たくましい

『さかきっ子』の育成」

前期終業式、後期始業式

10月8日(金)は、前期の終業式でした。8人の児童が学級代表として発表してくれました。どの児童も落ち着いて、しっかり発表してくれました。発表の内容もすばらしかったです。

前期に勉強や運動、体験学習など多くのことを経験し、知識や技能を身に付けてきた児童の成長を感じました。

校長の話として、児童のみなさんに2つお礼をいいました。1つは、学校全体で朝ボランティアに自発的に取り組んでくれていることへのお礼です。もう1つは、あいさつがよくなったことへのお礼です。地域の方からも、「下校時に『こんにちは』というあいさつをしてくれてうれしかったです。」という言葉いただきました。この話を紹介し、後期もぜひ、あいさつを続けてくださいと話しました。



また、12日(火)は、後期の始業式でした。校長から、「それぞれの学年があと半年で修了します。しっかり学習して力を蓄えてください」という話をしました。新型コロナに負けないように教職員も知恵を絞って教育活動にあたります。

保護者のみなさまのご協力を引き続きお願いします。

福祉体験学習 5年生

29日と10月6日に町社会福祉協議会の皆様のご協力の下、5年生が福祉体験授業を受けました。視力に障害のある場合の疑似体験をしたり、お年寄り体験セットを使って実際に歩いたり、階段を上ったりしながら、身体の不自由さを体験しました。社協の方々のお話やアドバイスを聞き、児童はさまざまなことを感じたり、考えたりしました。

日頃は、しょう害のある方々のことや、自分が年をとったときのことを意識することは、あまりないと思いますが、今回学んだことを活かし、これからの未来社会を誰もが幸せにらせる社会にしていってほしいと思います。町社会福祉協議会の皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。



熊日新聞「宝箱」掲載 8日～

10月8日(金)から熊日新聞の「宝箱」というコーナーに選ばれた二小の児童の詩が掲載されています。ぜひ、ご覧ください。8日には、1年今井君、9日には、2年山本さんの詩が掲載されました。また、9日には、熊日の若者コーナーに5年中村さんの作文も掲載されました。

9日の土曜日にたまたま学校に来ていたら、新聞を読まれた地域の方から電話があり、「二小の子供たちが載ったんですね。元気の出ました。」という電話をいただきました。

児童が活躍することで地域や南関町の方々が元気になってくださることを嬉しく思います。

二小は、小規模な学校ですから、大勢の人に自分の考えや作品を伝える機会は、少ないと思っています。そんな中でも場を準備して、児童の素敵な作品やすばらしい考えを多くの人に発信していきたいと考えています。その1つの手段として、新聞投稿を活用しています。

これからも投稿をしていく予定ですから、楽しみにしてください。

学校情報化「優良校」に認定

7日(木)日本教育工学協会から本校を学校情報化優良校に認定しますという内示がありました。(詳細は学校HPをご覧ください)これは、本校が、熊本県教育委員会から「くまもとGIGAスクールプロジェクト中心校」の指定を受けて、本校で取り組んだICT教育関係の実践をまとめて申請し、診査の結果、認定されました。本校GIGAスクール推進主任の石元先生を中心に、全職員で研修を積み重ねてきた結果です。大変嬉しく思います。研究成果を児童に還元していきます。